



東大阪大学こども学部

アジアこども学科

こども学の進化・深化を目指してアジア・グローバルな視点に立つ

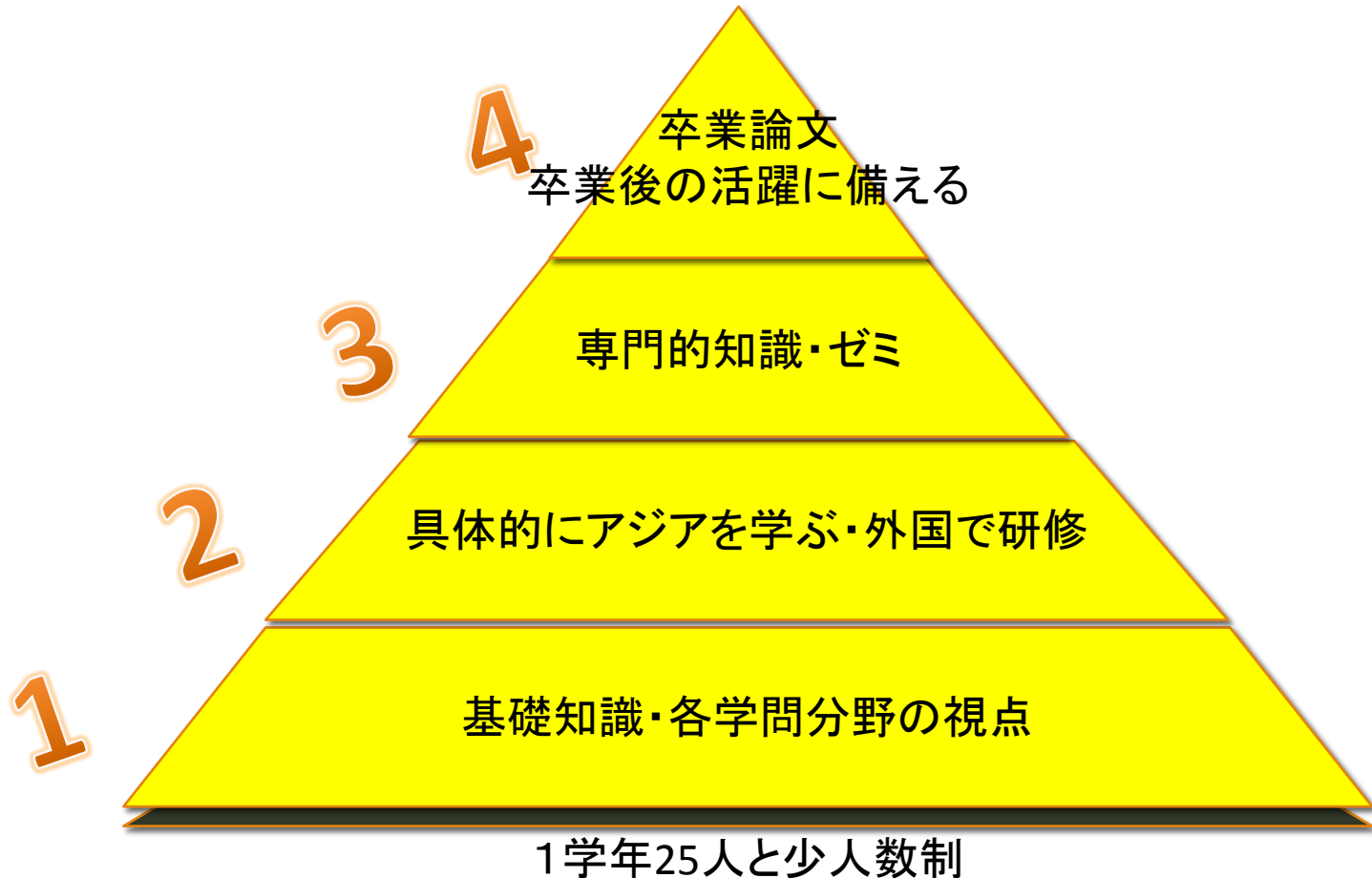
日本社会の現状

- ◆ 少子高齢化⇒人口減少⇒外国人の受入れ
- ◆ 日本企業の海外進出⇒海外日本人学校の生徒増
- ◆ 2018-2020年より小学校での英語教育必修化
- ◆ 日本国内外での日本語教師の不足現象



これからの日本社会の変化に対応できる人材が必要

カリキュラムには「こども学」 「ビジネス」「国際交流」



世界に通用する ビジネスの専門知識

グローバルな視野を 国際文化の理解へ

科目「こども製品開発とビジネス」

「もし、あなたが
こども製品の開
発者になったら、
まず最初に何を
すべきか？」



科目「アジアの中の日本」

- アジア諸国と地域の事情を知ることは不可欠
- アジアの中に置ける日本の位置を考え、アジア諸国の学習と理解につなげる
- これからの日本のあり方



アジアこども学科の概要

- ◆ 東アジアのこどもを巡る問題(貧困、少子化など)をこども学の観点から考える
- ◆ そのために、アジアの文化、ビジネス、語学や国際社会について学ぶ
- ◆ 取得可能な資格
 - ◆ 日本語教員養成研修420時間修了証明書(予定)
 - ◆ TOEIC、簿記、販売士などの資格取得をサポート
 - ◆ 小学校教諭1種免許状(他学科受講による)
 - ◆ 社会福祉主事任用資格(他学科受講による)
 - ◆ 児童指導員任用資格(他学科受講による)
- ◆ 21世紀の国際社会で活躍できる人材を育成する
- ◆ 卒業後は、大学院への進学、語学力や多文化理解の力を活かして、海外の日本人小学校の教諭、企業社員、NPO/NGO職員など、世界を舞台とした幅広いフィールドでの活躍を期待

アジアこども学科の特徴

【卒業後の進路】

海外青年協力隊・日本語サポーターズ(NGO)

- ◆ 数年間の有給ボランティアで帰国後の就職に有利
- ◆ 活動分野: 青少年活動・小学校補助教員・環境教育等々

子ども関連産業への就職

- ◆ ほとんどの生活産業には、子ども分野の知識を生かすことが可能

海外で就職

- ◆ 日系教育企業の海外進出、海外日本人学校、海外日本語学校

日本で外国人向け日本語教師

- ◆ 増加の一途をたどる留学生や定住外国人向けの日本語教師

「国内留学」

- ◆ 日本人学生と留学生の交流
- ◆ 国際交流クラブで学内と地域の外国人との交流
- ◆ 高校までの外国語じゃない
- ◆ まずは知っている外国語を使ってみよう
- ◆ 留学生のチューターになって、お互いの語学力をアップさせよう

異文化研究交流センター



アジアこども学研修

- ◆ 2年生の必修科目
- ◆ 全員参加
- ◆ 11月に1週間
- ◆ 教員が引率
- ◆ 過去には韓国、タイ、中国、フィリピン
- ◆ 行先の提携大学の学生と触れ合う機会
- ◆ 観光地や世界遺産巡り
- ◆ 学校や企業にも訪問



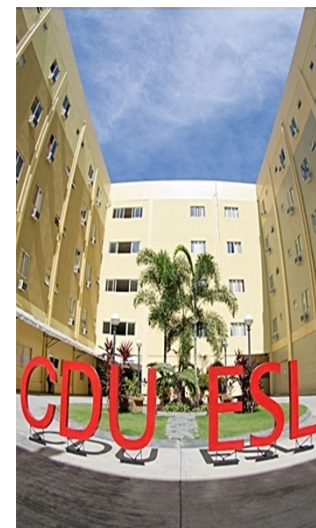
アジア地域文化研修(含む短期語学留学)

- ◆ 3年生の選択科目
- ◆ 夏休みに2週間
- ◆ 行先の提携大学で語学や文化のコースに参加
- ◆ 現地の学生と触れ合う
- ◆ 観光地や世界遺産巡り
- ◆ 過去には台湾、タイ
- ◆ 今後はタイか中国を選択
- ◆ タイ語か中国語の科目を履修してから



英語短期語学留学 I と II

- ◆ 2年生、3年生選択科目(2回も留学可能)
- ◆ 夏休みに1週間留学
- ◆ 環境を楽しむためのアクティビティあり
- ◆ I はフィリピンのリゾート地セブ島にある大学の集中英語コース
- ◆ II はニュージーランドでホームステイしながら大学の集中英語コース
- ◆ 英語を生かせる就職にも有利



その他の留学のチャンス

- ◆ 海外校での短期留学による単位認定制度あり
- ◆ 海外でのインターンシップも可能
- ◆ 中国語を頑張れば、上海師範大学の学位も取得可能



本学とスィーパトゥム大学の協定校調印式

